

エルマーとリゅう

～カナリア島のぼうけん～



イラスト / 林 由未

2024年

8月25日(日)

14:30開場 15:00開演

会場 玉村町文化センター

「にしきのホール」(大ホール)

チケット料金 一般2,500円 高校生以下1,000円
(全席指定) ※3歳未満入場不可

発売日

Web:6/5(水)9:00～

LivePocket
-Ticket-

窓口:6/15(土)9:00～

電話:6/15(土)13:00～

※窓口販売で完売の場合、電話予約はありません



主催
問合せ

(公財)玉村町文化振興財団 TEL.0270-65-0600

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福馬325 (9:00～17:00 / 月・祝日を除く)

玉村町文化振興財団



エルマーとりゅう

原作／R・S・ガネット 翻訳／渡辺茂男（福音館書店刊）脚色・演出／柴崎喜彦
 美術／林由未 音楽／富貴晴美 照明／芦辺靖 音響効果／川名武 振付／ASUKA Yazawa
 舞台監督／亀井佑子 制作／西本勝毅

りゅうを助けたエルマーは、相棒の猫のミミと3人でどうぶつ島を飛び立ちました。次なる冒険の舞台は、カナリア島。なんでも知りたがる「しりたがりのびょうき」のせいで島中は大騒ぎ。

相手を知ってどんなこと？ 島に隠された宝の謎へ挑む中で、エルマーとりゅうの心のふれあいを描きます。



唯一無二の宝 柴崎喜彦

私はこの仕事をしているおかげで、いろいろな人に出会うことができます。単純な性格なので、人との関係は自分が良いように解釈しがちですが、本当のところは違うのでしょうか。ずっと一緒にいる人でさえ完全に理解できないのだから、自分の物差しを超えた人とは、まったく未知の世界を手探りで歩いていくようなものなのでしょう。でもそれこそが、創造の力の源になっていると感じています。

エルマーは「ぼうけん」を通して、動物たちの好奇心を満たし、悩みを解決し、望みを叶えていくことで、関係を築いていきました。それは当初望んだ関係ではなかったと思うけれど、それぞれが自分の希望を成し遂げます。では、望みの先にあるものって…なんなんなのでしょうね、エルマー君？

前沢明枝さんの著作『「エルマーのぼうけん」をかいた女性 ルース・S・ガネット』には、こんなエピソードが紹介されています。ゴミの分別

ができない若者を、ガネットさんが叱咤したときのこと。若者は彼女に言われてゴミを出しただけで、やり方については何も知りませんでした。ガネットさんに教わって、その若者は回収車が来るのをきちんと見届けたというのです。

ガネットさんにとって大切なものとは？ それは、人と関わってトラブルになることを恐れる気持ちではなく、人をおもんばかり、人を不憫に感じる気持ち。そして彼らの未来に託した思いだったのではないのでしょうか。

そう。人との関係は、嫌な思いをすることもあつるし、傷をつけたりつけられたり、面倒なこともたくさんあるけれど、それでも、それ以上に、面白くて興味深くて、とても素敵なことだと思いませんか？

「みんな仲良しでいられればいいのに」人を思いやる心、それが本当の宝物かもしれません。

出演者 / 滝本妃呂美 野田史図希 亀井佑子
 長瀬円美 遠田香苗 四方隆互



原作者ガネットさん

2023年、100歳の誕生日を迎えられました！

2018年夏に来日、シリーズ第1作目の『エルマーのぼうけん』をご観劇下さいました。

